

◇ 新潟市都市計画基本方針 全体構成（素案）

第1章 都市計画基本方針の目的と位置づけ

※議事（1）

1. 目的

- ・市の最上位計画である総合計画に掲げる都市像の実現
- ・市民が「暮らしやすさ」を実感できる都市づくりの実践

2. 位置づけ

- ・都市計画法に基づく市の都市計画の基本的な方針であり、総合計画で位置づけられた分野別計画のうち、都市計画によるまちづくり分野を受け持つ基本方針
- ・新潟市総合計画、新潟県の区域マスタープランに即す

3. 基本条件

- 目標年次：本方針は長期的な展望に立った指針となるものであるため、目指す都市の姿としては概ね20年先を見据えます。その前提のもと、目標年次としては2031年度とします
- 対象とする区域 / ○都市計画によるまちづくりの基本姿勢

4. 構成

- ・「全体構想」、「区別構想」、「運用・推進方策」の3つで構成

第2章 新潟市を取り巻く状況

※議事（1）

1. 新潟市の概要

- (1)位置及び地勢
- (2)沿革や各区の個性

2. 新潟市の現状

- (1)人口 【人口・世帯数の推移 / 居住誘導区域内人口 / 田園集落 など】
- (2)土地利用 【市街化区域・DID区域の推移 / 空き家の状況 など】
- (3)拠点性 【都心・各区の地価 など】
- (4)公共交通 【公共交通利用者数推移 / 公共交通カバー人口率 / 交通分担率 など】
- (5)産業 【農家数 / 製造品出荷額 / 小売業の年間商品販売額 など】
- (6)観光 【観光入込客数推移 / 新潟空港利用者数推移 など】
- (7)防災 【洪水・津波ハザードマップ など】
- (8)都市経営 【公共施設の分布 / 新潟市歳入歳出の推移 など】
- (9)その他（新潟らしさ）【水田面積 / 農業算出額 / 保育所数 / 住宅の広さ など】

3. 都市をめぐる動向など

- (1)人口減少、少子・超高齢化 【コンパクト+ネットワーク / 都市経営的な視点】
- (2)持続可能な都市づくり 【SDGs / 環境への配慮（ゼロカーボンシティ）】
- (3)グローバル化の進展 【経済のグローバル化 / 産業活性化・交流人口の拡大】
- (4)Society5.0の実現 【ICTの進展 / スマートシティの実現】
- (5)価値観の多様化 【多様なニーズ（働き方・暮らし方） / ダイバーシティ】
- (6)高まる不確実性 【新型コロナ / 頻発化・激甚化する自然災害 / 変化への適応】
- (7)都心まちづくりの転機 【拠点性の向上 / 公民連携のまちづくり / 都心から全市へ】

第3章 都市づくりにおける基本的な考え方（理念）と目指す都市の姿

※議事（1）

1. 都市づくりにおける基本的な考え方（理念）

- 持続的に発展する都市 —全市レベルの理念—
- 誰もが暮らしやすい個性ある地域 —地域レベルの理念—

2. 目指す都市の姿

田園に包まれた多核連携型都市 —新潟らしいコンパクトなまちづくり—

- 市街地と田園・自然の共生・共鳴
市街地拡大は原則抑制しつつ、市街地と田園・自然が共生・共鳴する関係を維持
- 都市・地域の拠点形成
都市機能を集積し、地域の拠点機能を強化
- 拠点の連携
道路、公共交通等のネットワークを強化し、拠点間の連携・交流を強化



※イメージ（現行計画から引用）

第4章 都市・地域づくりの方針

※議事（1）

- 方針1. 田園・自然と市街地が共生・共鳴する都市 新潟
- 方針2. 国内外とつながる日本海拠点都市 新潟
- 方針3. 多様な拠点がネットワークでつながる都市 新潟
- 方針4. 活力と魅力あふれる産業・交流都市 新潟
- 方針5. 安全で安心して暮らし続けることができる都市 新潟
- 方針6. それぞれの地域で日常の暮らしができるまちづくり
- 方針7. 地域の個性を感じるまちづくり
- 方針8. 快適な住環境で暮らすことができるまちづくり

※方針ごとに、目標、取組方針、関連するSDGsについて記載



第5章 区別構想

※議事（2）

- 区の概要
- 現状・課題
- 区づくりの方向性

第6章 実現に向けた取り組み

- マネジメント
- 都市計画分野における実現に向けた取り組み
- 主要なプロジェクト（都心のまちづくり、鳥屋野潟等） など